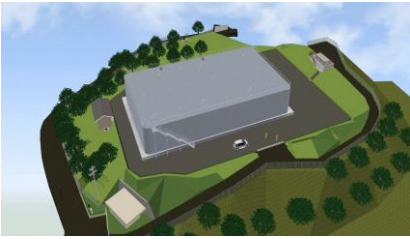


## (1) 水道施設等の更新・耐震化事業及び上水道施設整備基本計画の策定について

方向性	水道水を安定的に供給するため、水道施設・管路の更新及び耐震化を効率的・効果的に取り組みます。また、上水道施設整備基本計画を策定します。	
取り組み	水道管路については、更新及び耐震化事業を進めるとともに、鉛製給水管の取替えを行います。また、平成 28 年度に着手した鷹塚山配水場更新工事を継続し、津田低区配水場耐震化工事にも着手します。あわせて、上水道施設整備基本計画の策定にあたっては、上下水道経営部と連携を図りながら、取り組みを進めます。	＜鷹塚山配水場 イメージ図＞
	＜目標値＞	
	耐震性能を有する水道管路の割合 23.3% (参考：平成 28 年度 22.3%) 平成 30 年度当初予算：3,984,800 千円	

9 月末の  
進捗状況

【○】

水道管路については、更新、耐震化、鉛管解消事業に係る工事を平成 30 年度の計画に基づき、発注を行いました。また、鷹塚山配水場更新工事については、3 配水池のうち 1 配水池が完成し、給水を開始しました。津田低区配水場耐震化工事については、着手に向けて、実施設計に取り組んでいます。あわせて、上水道施設整備基本計画の策定については、「枚方市水道施設整備基本計画」として素案を取りまとめ、枚方市上下水道事業経営審議会へ報告を行いました。

## (2) 中宮浄水場更新事業

方向性	持続可能な水道を実現するための重点施策として、新たに建設する浄水場からの給水を平成 37 年度から開始することを目途に中宮浄水場の更新事業を進めます。
取り組み	基本設計の中で、枚方市 PPP/PFI 手法活用優先的検討の基本方針等に基づき第 3 次検討を実施し、事業手法の選定を行うなど民間活力の活用に向けた取り組みを進めます。 平成 30 年度当初予算：392,100 千円

9 月末の  
進捗状況

【○】

事業手法について、民間活力を活用する PPP 手法のうち、設計・建設・維持管理を民間事業者に一括発注する DBO 方式を採用することとしました。引き続き、事業者決定に向けた取り組みを進めます。

### (3) 公共下水道汚水整備事業

方向性	河川や水路、ため池などの水質汚濁防止を図り、安全で良好な生活環境が確保されたまちをめざすため、公共下水道の整備を進めます。また、工場等事業所系の汚水整備については、事業者の整備意向等を踏まえながら、効率的・効果的な手法で水循環の保全を図ります。
取り組み	住居系地域の汚水整備については、概成年度を迎えるにあたり、昨年度に引き続いて中部及び東部地域を中心に整備を進めるとともに、未承諾地区や整備困難地区の解消に取り組みます。また、工場等事業所系の汚水整備については、平成27年度に着手した枚方工業団地において、今年度完成に向け整備を進めます。 ≪目標値≫ 整備人口普及率 97.1% (参考：平成28年度 96.1%) 平成30年度当初予算：1,884,010千円

#### 9月末の 進捗状況 【災害対応に より遅れあり】

住居系地域及び整備困難地区における汚水整備工事については、大阪北部地震の影響により、工事前に実施する家屋調査に遅れが生じていますが、早期の工事完了に向けて取り組みを進めます。また、工場等事業所系の汚水整備については、枚方工業団地内の整備工事を発注し、今年度完成に向けた取り組みを進めています。

### (4) 下水道施設の長寿命化対策について

方向性	市民生活の安全確保を図るため、予防保全型を重視した計画的な下水道施設の改築・更新を推進し、下水道施設の長寿命化と維持管理に係るライフサイクルコストの最小化を図ります。
取り組み	平成28年度に策定した汚水管渠及びポンプ場遠方監視設備の下水道長寿命化計画に基づき、平成29年度に実施設計を行い、今年度から改築工事に取り組みます。また、下水道施設全体を一体的に捉え、計画的な点検・調査及び改築・修繕を進めることを目的とした下水道ストックマネジメント計画を新たに策定します。 平成30年度当初予算：358,800千円

#### 9月末の 進捗状況 【○】

平成29年度に行った実施設計に基づき、汚水管渠やポンプ場遠方監視設備の工事発注を行いました。また、「下水道ストックマネジメント実施計画策定業務委託」を6月末に契約し、ストックデータの整理を行いました。引き続き、計画策定に向けた取り組みを進めます。

**(5) 浸水対策について**

<p><b>方向性</b></p>	<p>近年の計画降雨を上回る集中豪雨対策として、下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、蹉跎排水区及び楠葉排水区において雨水貯留施設の整備を進めるとともに、下水道事業計画に基づき雨水管渠や雨水ポンプ場の整備を進め、浸水被害の軽減に取り組みます。</p>
<p><b>取り組み</b></p>	<p>蹉跎排水区については今年度、楠葉排水区については平成 32 年度の工事完了をめざし、雨水貯留施設の整備を進めます。また、新安居川・溝谷川ポンプ場の排水能力向上に向けた整備や雨水管渠等の整備を進めます。</p> <p style="text-align: center;">             &lt;シールドマシン（サダ雨水貯留管）&gt;      &lt;新安居川ポンプ場の施工状況&gt;         </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>平成 30 年度当初予算：4,630,556 千円</p>

<p><b>9 月末の 進捗状況 【〇】</b></p>	<p>蹉跎排水区・楠葉排水区では、雨水貯留施設の工事を進めており、新安居川・溝谷川ポンプ場では、ポンプ場施設の工事を進めています。また、その他の地区においても、浸水対策として雨水管渠等の工事を進めています。</p>
--------------------------------------	---